

経営学基礎		教授 丸山 高行	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目 教職科目	科目ナンバリング	21200104 25310102

1. 授業のねらい・概要

この科目は、経営学を初めて学ぶ人を対象に、経営および企業活動についての基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。具体的には、会社法をベースに、自ら会社を設立・経営する手順やノウハウのエッセンスを学ぶとともに、経営組織論や経営戦略論、コーポレート・ファイナンス論など、2年次以降の専門科目への興味が深まることを目指す。

2. 授業の進め方

基本的には、配布資料や参考文献等に基づき講義形式で行うが、一方通行の授業ではなく随所でケース・スタディを提示し、相互ディスカッションを含め、共に考える時間をとるようにする。また、毎回、授業の開始時に、その日の授業で学習する内容に関して2問程度練習問題を提示し、集中して考える時間を設ける。

3. 授業計画

<ul style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 会社形態 3. 会社設立の流れ 4. 定款の作り方 5. 会社法の基礎（特に機関設計と取締役の責任） 6. 経営組織 7. 経営戦略 8. 付加価値生産のメカニズム（経営資源管理） 	<ul style="list-style-type: none"> 9. マーケティング 10. 会計（財務会計と管理会計） 11. 財務理論（財務諸表分析①） 12. 財務理論（財務諸表分析②） 13. 株式の公開 14. コーポレート・ファイナンス 15. 全体のまとめ（コーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任）
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業終了後、授業中に提示された練習問題を中心に、授業の内容を自分なりに整理してまとめておくこと。こうした復習のための準備学修には、最低1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験終了後、各自に模範解答を配布するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

6. 授業における学修の到達目標

経営学に関する基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、現実の企業活動や決算発表、株式・債券市場の動きなど、ホットな話題にも適宜触れるので、経営学の諸分野について、さらに勉強しようという意欲が高まることを期待する。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは使用しないが、授業の進捗に合わせて、適宜参考文献を紹介する。

9. 受講上の留意事項

経営学基礎で学んだ知識を前提に授業を進めるので、しっかり復習しておくこと。また、株式や為替など、金融面の知識を増やすためには、社会科学の基礎A・Bの授業を並行して受講することが望ましい。